

進路指導部だより



道しるべ

天王みどり学園 進路指導部

第189号

令和8年3月5日発行



道を作る、道を進む

校長 高田屋 陽子

「いってきます！」雪の降る寒い日、高等部の生徒たちが除雪道具を手に地域に出かけていきます。冬期間限定の高等部除雪隊です。

追分地区の高齢の方々の住まいや、除雪車が入れない狭い路地の除雪を行っているのです。生徒たち全員が雪かきに慣れているわけではなく、それぞれのやり方で友達や先生の様子を見て少しずつ上達していきます。雪を掘ることで道ができます。寒い中での作業が終わる頃にはじんわり汗をかくくらい体が温まり、時には地域の方々から直接「ありがとう」の言葉や笑顔を受け取ることも。学校に帰ってきた生徒たちの顔は心なしか少し誇らしげにも見えます。そして、その姿を見ている後輩たちがいます。後輩たちにとっても先輩の姿はあこがれであり、一番身近なロールモデルでもあります。

「進路」＝「卒業後の仕事・行き先探し」と捉えてしまいがちですが、その守備範囲はもっと広く、様々なことが相互に関係しています。自分の力を発揮できる場所や仕事を見つけること、自分でできることを増やしコツコツ続けていくこと、生活のリズムを安定させて健康に過ごせること、そして自分の好きなことが分かり、自分の時間を楽しめること……。まだまだたくさんあります。

こう考えると、「進路指導」は高等部からスタートするのではなく、小学部からすでに始まっていることに気がつきます。子どもたちは私たち大人が考えるより、遙かに多くの可能性を秘めています。目の前のことにていねいに取り組むことで、次の道が見えてくることも多いと感じています。

「進路」は卒業とともに完了するのではなく、ずっと変化し続けるものです。その素地を養うために学校時代に様々な経験を積むことが大切です。一人では挑戦できないことも、友達と一緒に取り組むことで広がる世界もあります。また、周囲の人に認められたり、励まされたりすることでもう一歩先に進む勇気が生まれます。

さて、作業を終えた除雪隊は、今日の給食メニューの「カレーうどん」をいつもに増しておいしそうに食べています。子どもたちの健康を考え整えられた食事です。子どもたちの周りにはこうしたたくさんの温かな応援があります。子どもたちを真ん中にしながら、ご家庭と子どもたちの進路について今後も相談を重ねていきたいと思ひます。



令和7年度高等部3年生の進路決定状況

就職（一般就労）＜職種：作業内容等＞

- 製造業
 - ・自動車付属品製造等
- 小売業
 - ・青果袋詰め等

福祉サービス利用（※利用予定のサービス）

- 就労継続支援A型
スプレッド
- 就労継続支援B型
にじいろのカルテ、湯上ひまわりの里、サポートつくし、スクラム
- 生活介護
南秋つくし苑

第22期生同窓会入会式

3月3日（火）に同窓会入会式が行われました。同窓会会長から事前にメッセージをいただいて、進路指導主事が代読しました。

同窓会の活動の主役は同窓会員一人一人です。みんなで意見を出し合って同窓会での活動が卒業後の生活の中で楽しく、有意義な活動の場の一つになればと考えております。



秋田県特別支援学校就労促進フェア（県央地区）

令和7年12月16日（火）、秋田県立栗田支援学校にて就労促進フェアが開催されました。本校からは技能競技大会「練成会」の「ビルクリーニング競技」、「喫茶サービス競技」に代表選手4名が出場し、緊張感の中で練習の成果を発揮しました。

また、実践発表では就労への意欲や目標を力強く発信し、作業学習製品の販売活動も、日頃の学習成果を披露する充実した機会となりました。



第3回わくわくサークル（青年学級）

2月7日（土）に、今年度最後のわくわくサークル（青年学級）が行われました。今回は、NPO法人チャレンジスポーツあきたから3名の講師の方をお招きし、「モルック体験」を行いました。モルックを行うのは初めてという参加者が多かったですが、講師の方々に、ルールやモルックを投げるコツを教えていただきながら、チームに分かれて試合を楽しみました。難しい場面で点数が決まると歓声上がり、「難しかったけど楽しかった」という感想が多く寄せられました。

